

〈第144回〉銀行業務検定試験成績発表

証券3級が好成績

去る2020年10月27日(日)に実施いたしました第144回銀行業務検定試験の成績結果がでましたので、ご参考までに発表いたします。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数4,677名中受験者は3,809名で合格者は1,141名でした。合格率は29.96%、平均点は41.32点で、ともに前回(2019年6月)を上回りました。

最高点は87点で、海老澤美紗さん(昭和信用金庫)、菅野誠一郎さん(農林中央金庫)、片岡恵さん(個人申込)の3名が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕預金の相続の問題が5.81点となっています。本間は、預金相続実務に大きな影響がある最大決平成28・12・19、最一判平成29・4・6などに関するものでした。〔問題-2〕預金の差押えの問題は3.97点となりました。実務に必要な法令(滞調法・国税徴収法など)の掲載がある判例・約款付『金融取引小六法』などを用い、より理解を深めてほしいところです。〔問題-3〕当座預金取引契約の終了の問題は5.37点となりました。当座勘定規定の内容を正確に理解するた

め、その規定が具体的にどのような内容を定めているかについて考えながら読むようにしてください。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕自己宛小切手の事故届と支払責任の問題は3.78点となりました。〔問題-5〕手形の偽造の問題は4.90点となりました。全般的によく理解・記述されていました。〔問題-6〕線引小切手の支払と銀行の責任の問題は3.93点となりました。線引小切手に関する小切手法の定めと当座勘定規定の定め

の理解が求められる問題です。〈融資〉の分野では、〔問題-7〕信用保証協会の保証の問題は4.16点となりました。関連する裁判例について六法等を使用してよく理解しておいてください。〔問題-8〕合併と根抵当権の効力の問題は3.35点となりました。事業承継やM&Aなどで取引先が合併する事案は今後も増え、業務上の重要性も増すと予想されますので、民法の条文をベースとした確実な理解が求められます。〔問題-9〕法定地上権の成立と一括競売の問題は3.59点となりました。〔問題-10〕民事再生手続の問題は2.46点となりました。本間は

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	150	1,636	145	213	1,553	118	123	41	2	0	8	688	4,677
応募比率	3.21	34.98	3.10	4.55	33.21	2.52	2.63	0.88	0.04	0.00	0.17	14.71	100.00
受験者数	134	1,369	101	155	1,335	93	109	37	2	0	6	468	3,809
受験率	89.33	83.68	69.66	72.77	85.96	78.81	88.62	90.24	100.00	0.00	75.00	68.02	81.44
合格者数	65	453	34	28	315	16	40	11	0	0	2	177	1,141
合格率	48.51	33.09	33.66	18.06	23.60	17.20	36.70	29.73	0.00	0.00	33.33	37.82	29.96
平均点	47.40	42.63	41.62	37.88	38.64	34.76	43.87	42.38	48.00	0.00	45.83	44.96	41.32
年齢	26.3	31.5	31.9	38.0	36.8	39.5	37.8	35.7	37.5	0.0	40.3	33.1	34.1
勤続年数	3.1	8.3	9.0	14.7	14.0	15.9	15.4	11.7	14.5	0.0	12.3	9.3	11.0

時間がなかったためか、点数が低い結果となっています。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数 21,741 名中受験者は 19,252 名で合格者は 6,225 名でした。合格率は 32.33%、平均点は 51.45 点で、ともに前回 (2019 年 6 月) を上回りました。

最高点は 100 点で、川渕貴心さん (北陸銀行)、深井究さん (九州ひぜん信用金庫)、岡田佳久さん (塩野谷農業協同組合)、長谷川摩璃さん (個人申込) の 4 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈融資〉の分野では〔問-16〕動産・債権譲渡特例法 (26.34%)、〔問-17〕根抵当権の元本の確定 (24.44%)、〔問-22〕債務引受 (17.44%) の 3 問、

〈決済〉の分野では〔問-30〕小切手の必要的記載事項 (21.38%)、〔問-36〕小切手の依頼返却 (28.84%)、〔問-38〕遡求権 (26.29%) の 3 問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問-47〕株式会社の機関 (25.98%) の 1 問で、計 7 問でした。

このうち〔問-30〕は、小切手の必要的記載事項についての知識を問うものでした。小切手法上、小切手には、①小切手であること示す文字 (小切手文句)、②単純な支払委託文句、③小切手金額、④支払人の名称、⑤支払地、⑥振出日および振出地、⑦振出人の署名、を必ず記載しなければならず (同法 1 条各号)、これを小切手要件 (「必要的記載事項」といいます。これを機に基本的な知識として正確に理解してください。

他方、〈預金〉の分野では、正解率が 30% 以下となった問題はなく、好成績でした。

■法務4級

「法務4級」の成績結果は、〔表-3〕のとおり

〔表-2〕法務3級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	907	6,526	530	1,904	5,598	1,058	1,885	722	6	2	174	2,429	21,741
応募比率	4.17	30.02	2.44	8.76	25.75	4.87	8.67	3.32	0.03	0.01	0.80	11.17	100.00
受験者数	868	5,915	417	1,648	5,069	922	1,748	637	6	0	147	1,875	19,252
受 験 率	95.70	90.64	78.68	86.55	90.55	87.15	92.73	88.23	100.00	0.00	84.48	77.19	88.55
合格者数	597	2,052	205	417	1,312	178	475	189	4	0	55	741	6,225
合 格 率	68.78	34.69	49.16	25.30	25.88	19.31	27.17	29.67	66.67	0.00	37.41	39.52	32.33
平均点	65.78	52.70	58.48	48.64	48.63	46.69	48.34	50.08	66.33	0.00	54.90	54.76	51.45
年 齢	23.7	25.8	28.8	27.2	27.5	29.1	33.3	30.4	33.3	0.0	39.3	30.2	27.9
勤続年数	0.6	2.8	4.6	4.4	5.0	6.3	10.0	4.6	13.0	0.0	14.3	6.5	4.6

〔表-3〕法務4級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	9	171	0	387	1,179	363	605	70	0	1	0	246	3,031
応募比率	0.30	5.64	0.00	12.77	38.90	11.98	19.96	2.31	0.00	0.03	0.00	8.12	100.00
受験者数	9	157	0	363	1,125	346	556	68	0	1	0	221	2,846
受 験 率	100.00	91.81	0.00	93.80	95.42	95.32	91.90	97.14	0.00	100.00	0.00	89.84	93.90
合格者数	7	104	0	209	752	185	234	50	0	1	0	170	1,712
合 格 率	77.78	66.24	0.00	57.58	66.84	53.47	42.09	73.53	0.00	100.00	0.00	76.92	60.15
平均点	66.89	64.66	0.00	61.83	65.39	60.84	55.71	67.91	0.00	86.00	0.00	70.22	62.90
年 齢	23.3	23.4	0.0	23.4	24.2	22.7	26.7	26.8	0.0	27.0	0.0	31.6	25.0
勤続年数	1.0	1.1	0.0	0.8	2.4	1.1	3.7	1.7	0.0	0.0	0.0	5.2	2.4

です。

応募者数 3,031 名中受験者は 2,846 名で、合格者は 1,712 名でした。合格率は 60.15%、平均点は 62.90 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 100 点で、上嶋治さん(播州信用金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 40% 以下となった問題は、次のとおりです。

〈手形・小切手〉の分野では〔問－22〕自己宛小切手(36.30%)、〔問－30〕電子記録債権の消滅(30.32%)の2問、〈融資〉の分野では〔問－31〕融資取引の相手方(32.85%)、〔問－36〕抵当権の実行(37.63%)、〔問－40〕銀行取引約定書(13.77%)の3問で、計5問でした。

このうち〔問－40〕は、銀行取引約定書について問うものでした。金銭消費貸借契約証書などの個別約定書は、基本約定書である銀行取引約定書の付属契約書としての性格を有しているため、銀行取引約定書の規定と個別約定書の規定が抵触する場合には、原則として個別約定書の規定が優先して適用されるという関係にあります。銀行取引約定書は銀行取引を行ううえで重要な約定書ですので、理解を深めておくこと本試験のみならず実務に役立ちます。

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者 6,683 名中受験者は 5,133 名で、合格者

は 1,188 名でした。合格率は 23.14%、平均点は 44.63 点で、ともに前回(2019年6月)を下回りました。

最高点は 94 点で、脇谷乃里奈さん(岐阜県信用農業協同組合連合会)が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題－5〕減損会計(平均点：2.03 点)でした。次に低かった問題は、〔問題－4〕有形固定資産(平均点：2.13 点)でした。

〔問題－5〕は、固定資産の減損損失の認識の判定および減損損失の金額を算出する問題です。本問は、過去にも出題されていましたが、平均点は低調でした。減損損失の問題では、割引前将来キャッシュ・フロー、正味売却価額および使用価値を、それぞれどの段階で計算式に用いるのかを整理しておく必要があります。減損会計は、現実の企業の決算では、とりわけ注目され、企業業績にも大きな影響を及ぼすテーマでもあるので、基本的なしくみを理解しておくことが求められます。

〔問題－4〕は、有形固定資産について、資本的支出・収益的支出の区別、保険差益(火災損失)と減価償却費を算出する問題です。本問は、財務3級ではよく出題されている項目ですが、財務2級でははじめて出題されたこともあり、平均点は低調でした。とくに、機械装置と備品の当期の減価償却費を算定する問題は、いずれも定率法による償却方法ですが、当期予定償却額(期首簿価×償却率)が償却保証額を上回っているか否かの判

〔表－4〕財務2級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	165	2,800	182	513	1,604	74	107	6	34	0	21	1,177	6,683
応募比率	2.47	41.90	2.72	7.68	24.00	1.11	1.60	0.09	0.51	0.00	0.31	17.61	100.00
受験者数	149	2,258	133	367	1,313	54	94	6	16	0	17	726	5,133
受験率	90.30	80.64	73.08	71.54	81.86	72.97	87.85	100.00	47.06	0.00	80.95	61.68	76.81
合格者数	61	461	50	93	200	15	47	2	9	0	3	247	1,188
合格率	40.94	20.42	37.59	25.34	15.23	27.78	50.00	33.33	56.25	0.00	17.65	34.02	23.14
平均点	52.38	43.50	48.38	43.94	41.52	45.50	56.17	51.83	54.50	0.00	37.65	50.17	44.63
年齢	25.5	30.0	30.1	34.3	35.8	35.9	33.5	39.0	30.6	0.0	43.8	31.8	32.1
勤続年数	2.3	7.2	6.3	11.4	13.3	12.5	10.6	14.0	6.6	0.0	21.8	8.5	9.3

定が必要となり、得点できた受験者とできない受験者の差が大きくなりました。

一方で、〔問題－1〕修正仕訳と貸借対照表項目の作成、〔問題－6〕収益性諸指標による比較分析、〔問題－7〕セグメント情報と損益分岐点分析は、頻出のテーマということもあり、よく解答できていました。

全体の傾向として、勘定科目欄に記載された科目を正しく記載していない、端数処理を誤っているなどのミスが散見されました。正しい解答ができるよう、問題文を注意深く読むことが求められます。

■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数 11,076 名中受験者は 9,442 名で、合格者は 2,967 名でした。合格率は 31.42%、平均点は 49.29 点で、ともに前回（2019年3月）を上回りました。

最高点は 96 点で、高橋千仁さん（横浜銀行）、青木勇希彦さん（北陸銀行）、藤田光香さん（浜松いわた信用金庫）、山根和幸さん（個人申込）の 4 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問－3〕保険金・年金にかかる課税、〔問－13〕一時所得の課税・計算方法、〈相続税・贈与税〉分野では〔問－22〕相続税の課税価格の合計額、〈法人税〉分野では〔問－41〕受取配

当金の益金不算入、〔問－42〕役員給与等の扱い、の 5 問でした。

今回は正解率の低い問題が少なく、税制改正についてもよく学習されていることがうかがえました。

本種目の学習にあたっては、まずは各税金の課税の全体像を理解し、それをふまえて個別の論点を学ぶことが重要です。そのため、通信講座や参考書を活用することでより高い学習効果が得られるものと考えます。

■ 証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数 944 名中受験者は 809 名で、合格者は 469 名でした。合格率は 57.97%、平均点は 60.70 点で、ともに前回を上回りました。

最高点は 96 点で、濱田将光さん（兵庫県信用農業協同組合連合会）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－13〕銀行等の登録金融機関の行う公共債の窓口販売業務等、〔問－15〕金融商品取引業者等の広告等・景品類の規制、〔問－45〕法人の資金運用にかかる税制、〔問－50〕会社法、の 4 問でした。

例年難度が高い傾向にある問題や分野についても得点状況は良好であり、多くの受験者が問題解説集を中心によく学習されていたことがうかがえます。

〔表－5〕 税務3級・業態別成績一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	96	4,021	395	951	2,333	372	902	100	105	3	100	1,698	11,076
応募比率	0.87	36.30	3.57	8.59	21.06	3.36	8.14	0.90	0.95	0.03	0.90	15.33	100.00
受験者数	78	3,579	309	797	2,059	302	840	80	74	2	83	1,239	9,442
受験率	81.25	89.01	78.23	83.81	88.26	81.18	93.13	80.00	70.48	66.67	83.00	72.97	85.25
合格者数	39	1,191	128	203	495	55	227	27	40	2	33	527	2,967
合格率	50.00	33.28	41.42	25.47	24.04	18.21	27.02	33.75	54.05	100.00	39.76	42.53	31.42
平均点	57.15	50.21	53.49	46.76	46.30	42.98	47.49	50.53	57.62	74.00	51.61	53.67	49.29
年齢	27.0	26.5	27.5	28.2	29.3	32.0	33.8	29.0	34.7	23.5	39.7	31.4	29.0
勤続年数	2.8	3.4	3.7	5.7	6.9	9.1	10.3	4.5	9.1	1.0	18.4	7.4	5.8

■ 外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数2,442名中受験者は2,067名で、合格者は846名でした。合格率は40.93%、平均点は54.50点で、ともに前回(2019年3月)を少々上回りました。

最高点は92点で、佐野智子さん(商工組合中央金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕輸入貿易管理制度、〔問-5〕コルレス契約等、〔問-7〕インコタームズ®2010、〔問-18〕D/P・D/A手形の取扱い、〔問-30〕UCP600全般、〔問-36〕支払又は支払の受領に関する報告書、〔問-37〕外為法と国外送金等に係る調書提出法の本人確認、〔問-43〕対内直接投資等、の8問でした。

〔問-5〕で問われたコルレス契約に関する知識は、外国為替の実務において基本的な項目で

す。受験に際しても、また実務においても、試験の各分野で問われる基本項目については、知識を定着させておくことが望まれます。

■ 預かり資産アドバイザー2級

「預かり資産アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-8〕のとおりです。

応募者数1,307名中受験者は1,145名で、合格者は351名でした。合格率は30.66%、平均点は50.89点で、ともに前回を下回りました。

最高点は86点で、平田祐輔さん(北國銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈業務知識〉において正解率が30%以下となった問題は、〔問-10〕株式投資信託の提案、〔問-13〕投資信託の運用方法の2問でした。

〈技能・応用〉において平均点が5点を下回った問題は、〔問題-26〕ライフプラン、〔問題-29〕比較可能な共通KPI、〔問題-30〕銀行等による保険募集に係る弊害防止措置の3題でし

〔表-6〕証券3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	10	377	80	34	75	8	92	8	11	25	0	224	944
応募比率	1.06	39.94	8.47	3.60	7.94	0.85	9.75	0.85	1.17	2.65	0.00	23.73	100.00
受験者数	9	340	69	25	68	7	88	8	7	23	0	165	809
受験率	90.00	90.19	86.25	73.53	90.67	87.50	95.65	100.00	63.64	92.00	0.00	73.66	85.70
合格者数	3	206	41	10	36	4	60	6	4	12	0	87	469
合格率	33.33	60.59	59.42	40.00	52.94	57.14	68.18	75.00	57.14	52.17	0.00	52.73	57.97
平均点	55.33	61.88	60.14	53.44	59.15	64.00	63.36	68.00	58.00	57.13	0.00	59.22	60.70
年齢	33.3	32.1	29.3	32.1	36.2	31.1	30.8	30.9	32.1	30.6	0.0	34.9	32.6
勤続年数	10.8	8.6	4.8	10.7	13.0	6.0	7.8	9.8	9.0	7.4	0.0	9.9	8.9

〔表-7〕外国為替3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	262	1,160	54	95	206	6	4	0	0	0	0	655	2,442
応募比率	10.73	47.50	2.21	3.89	8.44	0.25	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	26.82	100.00
受験者数	226	1,017	47	84	179	5	4	0	0	0	0	505	2,067
受験率	86.26	87.67	87.04	88.42	86.89	83.33	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77.10	84.64
合格者数	114	368	30	19	64	2	1	0	0	0	0	248	846
合格率	50.44	36.18	63.83	22.62	35.75	40.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.11	40.93
平均点	58.12	52.79	61.79	48.60	52.32	54.00	38.50	0.00	0.00	0.00	0.00	57.53	54.50
年齢	24.3	29.9	33.3	33.4	35.9	38.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7	30.0
勤続年数	1.4	6.9	9.9	9.7	12.6	13.3	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	6.8

た。〔問題－26〕は、解答に必要な係数を選んで運用後の金額を計算し、生活設計に必要な情報をあげる問題、〔問題－29〕は、比較可能な共通KPIを用いて金融事業者の取組状況を顧客が評価するにあたり重要な点を問う問題、〔問題－30〕は一部の弊害防止措置が適用されない生命保険商品等について問う問題でした。初出や出題頻度の低い問題だったため、得点が伸び悩んだものと推察できます。

過去に出題された問題をカバーすることはもちろん、現在金融機関において重要視されていること、業務上必要なことなど、おさえておくべきことは幅広くありますが、それらについてしっかりと理解しておくことが大切です。

■ 預かり資産アドバイザー3級

「預かり資産アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数 2,518 名中受験者は 2,365 名で、合格

者は 2,188 名でした。合格率は 92.52%、平均点は 73.04 点で、非常に高い合格率となりました。

最高点は 100 点で、森田昭成さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四択択一式〉において正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－9〕投資信託の運用報告書の見方、〔問－12〕個人向け国債の窓口販売、〔問－35〕金融商品販売法の 3 問でした。ただ、他の問題が非常によくできており、正解率が 90% を超えた問題が 14 問ありました。

〈事例付四択択一式〉において正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－47〕アフターフォローの 1 問でした。こちらもとても正解率が高く、90% を超えた問題が 3 問ありました。

「預かり資産アドバイザー3級」は今回から実施がはじまりましたが、受験者の方々が万全の準備のもと試験に臨まれたことが推察できます。

預かり資産のなかでも投資信託に関する出題が多めであること、金融商品販売法等の法律やコン

〔表－8〕 預かり資産アドバイザー2級・業態別成績一覧表（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	6	726	3	133	166	10	34	53	1	0	11	164	1,307
応募比率	0.46	55.55	0.23	10.18	12.70	0.77	2.60	4.06	0.08	0.00	0.84	12.55	100.00
受験者数	6	662	2	113	150	8	29	44	1	0	9	121	1,145
受験率	100.00	91.18	66.67	84.96	90.36	80.00	85.29	83.02	100.00	0.00	81.82	73.78	87.61
合格者数	3	220	1	23	31	0	9	18	1	0	3	42	351
合格率	50.00	33.23	50.00	20.35	20.67	0.00	31.03	40.91	100.00	0.00	33.33	34.71	30.66
平均点	60.33	52.50	48.50	44.58	46.91	38.75	46.62	55.52	62.00	0.00	49.89	52.57	50.89
年齢	42.2	34.1	40.0	33.2	38.1	32.1	38.7	33.9	44.0	0.0	38.4	36.7	35.0
勤続年数	16.8	10.5	17.5	10.8	15.0	9.2	13.6	11.1	0.0	0.0	17.3	12.5	11.5

〔表－9〕 預かり資産アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	13	988	1	107	572	35	227	70	3	7	179	316	2,518
応募比率	0.52	39.24	0.04	4.25	22.72	1.39	9.02	2.78	0.12	0.28	7.11	12.55	100.00
受験者数	13	932	1	102	541	32	217	65	3	6	168	285	2,365
受験率	100.00	94.33	100.00	95.33	94.58	91.43	95.59	92.86	100.00	85.71	93.85	90.19	93.92
合格者数	13	897	1	95	474	29	189	56	2	6	159	267	2,188
合格率	100.00	96.24	100.00	93.14	87.62	90.63	87.10	86.15	66.67	100.00	94.64	93.68	92.52
平均点	75.54	74.98	82.00	73.71	70.88	67.50	70.06	71.75	77.33	76.33	72.30	73.89	73.04
年齢	43.1	32.5	28.0	34.6	36.6	35.8	39.0	36.1	50.3	33.3	42.4	40.9	36.1
勤続年数	20.0	10.1	5.0	13.8	14.0	12.0	15.8	11.8	28.0	13.6	19.9	17.4	13.2

プライアンスに関する基本やセールス手法を問うていることなど、お客様に預かり資産を提案していくための基本的な事柄を問う試験種目ですので、日頃の業務や学習で培った力をいかに発揮していただきたいと思えます。

■年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数9,651名中受験者は8,337名で、合格者は3,262名でした。合格率は39.13%、平均点は52.16点で、ともに前回(2019年3月)を上回りました。

最高点は100点で、神長隆之さん、清水麻美さん、下村毅さん、岡田一真さん、太田裕子さん、木村顕夫さん(以上、個人申込)の6名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-29〕個人型確定拠出年金、〔問-31〕老齢基礎年金の受給資格期間、〔問-37〕60歳台前半の在職老齢年金、〔問-38〕高年齢雇用継続給付と在職老齢年金との併給調整、〔問-44〕遺族厚生年金、の5問でした。

〔問-29〕は、幅広い内容のなかから重要な論点を出題するため、毎回のように初出の選択肢を出題することになります。そのため、難度の高い問題となっています。

〔問-31〕は、夫婦をひとつの単位として老齢基礎年金の受給資格期間を問う問題です。国民年

金の第3号被保険者期間をみるには、配偶者の年金加入状況も考慮しなければならず、難度の高い問題となっています。

〔問-37〕は、もともと難度の高いテーマであったのに加え、在職老齢年金の計算にあたって標準賞与額の上限額を使用する問題としました。このため、とくに難度の高い問題となっています。

〔問-38〕〔問-44〕は、これまでも低い正解率となることが多いテーマであり、今回もそのとおりとなりました。

今回の試験は、最近実施の同種目のなかでは好結果で、正解率が低い問題も少なく、受験者の方がよく学習していることがうかがえました。

■相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-11〕のとおりです。

応募者数5,990名中受験者は5,247名で、合格者は2,055名でした。合格率は39.17%、平均点は53.90点で、ともに前回(2019年3月)を下回りました。

最高点は94点で、高松健太郎さん(静岡県労働金庫)、堀江隆さん(個人申込)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-17〕相続税の延納・物納、〔問-20〕贈与税額の計算(相続時精算課税)、〔問-42〕遺留分侵害額の計算、〔問-46〕特定贈与信託(特定障害者扶養信

〔表-10〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	21	519	7	100	918	250	974	59	73	1	3,992	2,737	9,651
応募比率	0.22	5.38	0.07	1.04	9.51	2.59	10.09	0.61	0.76	0.01	41.36	28.36	100.00
受験者数	19	430	4	83	809	209	875	51	45	1	3,729	2,082	8,337
受験率	90.48	82.85	57.14	83.00	88.13	83.60	89.84	86.44	61.64	100.00	93.41	76.07	86.38
合格者数	8	139	2	23	243	40	224	23	16	0	1,393	1,151	3,262
合格率	42.11	32.33	50.00	27.71	30.04	19.14	25.60	45.10	35.56	0.00	37.36	55.28	39.13
平均点	53.89	48.72	63.00	47.25	47.17	42.07	44.28	54.24	49.91	58.00	51.12	61.14	52.16
年齢	41.7	33.2	40.0	33.4	34.2	31.4	33.2	34.1	33.8	27.0	37.8	42.2	37.6
勤続年数	17.4	10.0	22.0	10.2	11.9	9.2	9.8	9.1	10.0	8.0	14.6	15.1	13.2

託)の活用、〔問－50〕個人の事業承継対策、の5問でした。

得点状況をみますと、2019年1月13日および2019年7月1日に施行された民法(相続関連)その他の改正内容をふまえた出題や新規の論点に対しても、多くの受験者が対応できており、学習の成果があらわれていたことがうかがえます。本種目の関連の法令や制度は、今後も改正が続きます。受験に際しては、問題解説集だけでなく、基本書となる参考書・通信講座等を副読本としながら、改正点を含め、知識を深めることが望まれます。

■ 保険販売3級

「保険販売3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数1,106名中受験者は1,001名で、合格者は400名でした。合格率は39.96%、平均点は54.68点で、ともに前回を下回りました。

最高点は84点で、吉岡純子さん(西京銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－4〕危険選択、〔問－7〕生命保険契約者保護機構、損害保険契約者保護機構、〔問－8〕損害保険料率算出機構、〔問－10〕銀行業務周辺の保険商品、〔問－18〕医療保険、がん保険、〔問－30〕自動車保険、〔問－44〕法令等遵守責任者等の配置、の7問でした。

〔問－4〕〔問－7〕〔問－18〕〔問－30〕〔問－44〕は、定番もしくはよく出題しているテーマであることから、やや意外な結果となりました。

〔問－8〕〔問－10〕は、初出のテーマであることから、難度の高い問題でした。

本種目は、問題を4つのカテゴリーに分類しています。そのうちの「基本知識」10問のうち、〔問－4〕〔問－7〕〔問－8〕〔問－10〕が、低い正解率となりました。「基本知識」では、やや広い範囲の知識が要求されますので、答えにくかった

〔表－11〕 相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	50	863	25	138	595	151	1,107	56	5	21	1,572	1,407	5,990
応募比率	0.83	14.41	0.42	2.30	9.93	2.52	18.48	0.93	0.08	0.35	26.24	23.49	100.00
受験者数	44	732	20	125	524	131	1,039	46	3	19	1,442	1,122	5,247
受験率	88.00	84.82	80.00	90.58	88.07	86.75	93.86	82.14	60.00	90.48	91.73	79.74	87.60
合格者数	23	327	17	45	201	48	337	18	1	3	578	457	2,055
合格率	52.27	44.67	85.00	36.00	38.36	36.64	32.44	39.13	33.33	15.79	40.08	40.73	39.17
平均点	57.68	56.40	70.10	53.86	53.94	51.39	50.70	54.13	53.33	42.95	54.30	54.72	53.90
年齢	38.2	35.8	44.6	35.7	38.0	35.2	36.3	37.9	44.7	42.0	41.5	40.2	38.7
勤続年数	12.5	12.9	21.1	12.0	15.3	14.2	13.1	11.3	35.0	19.7	18.1	15.3	15.1

〔表－12〕 保険販売3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	14	685	1	68	125	3	15	4	4	0	0	187	1,106
応募比率	1.27	61.93	0.09	6.15	11.30	0.27	1.36	0.36	0.36	0.00	0.00	16.91	100.00
受験者数	13	638	1	61	116	2	14	4	3	0	0	149	1,001
受験率	92.86	93.14	100.00	89.71	92.80	66.67	93.33	100.00	75.00	0.00	0.00	79.68	90.51
合格者数	3	280	1	17	35	1	5	4	2	0	0	52	400
合格率	23.08	43.89	100.00	27.87	30.17	50.00	35.71	100.00	66.67	0.00	0.00	34.90	39.96
平均点	48.92	56.37	62.00	50.75	50.31	55.00	48.71	70.00	65.33	0.00	0.00	52.85	54.68
年齢	36.7	32.0	32.0	33.3	35.8	39.5	35.5	37.3	33.3	0.0	0.0	33.7	32.9
勤続年数	11.5	8.9	8.0	9.0	12.3	16.5	10.3	4.0	10.7	0.0	0.0	11.4	9.7

ものと思われます。そうはいつても、全体としては好成績で、受験者の方がよく学習をされていたといえます。

■ 営業店マネジメント I

「営業店マネジメント I」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数 1,380 名中受験者は 1,144 名で、合格者は 379 名でした。合格率は 33.13%、平均点は 55.18 点で、前回 (2019 年 6 月) と比べて、合格率は上回り、平均点は下回りました。

最高点は 79 点で、深作憲司さん (きらぼし銀行) が個人最優秀賞を受賞されました。

10 題中、平均点が 5 点を下回ったのは、〈労務管理〉の分野で出題した〔問題-2〕フォローシップ、〈組織活性化〉の分野で出題した〔問題-4〕支店における働き方改革の実践、〈経営関連一般常識〉の分野で出題した〔問題-10〕「金融検査・監督の考え方と進め方」の理解、の 3 題でした。

「営業店マネジメント I」は、本年度より「営業店管理 I」からリニューアルし、今回の実施で 2 回目になります。本種目の出題範囲は、近時のマネジメント全般に関する応用的な出題となっています。昨今ではとくに働き方改革について、単に制度内容をおさえておくのにとどまらず、実践につなげるための、より深い理解が求められるようになってきています。平均点が 5 点を下回った問題のうち、〔問題-4〕は、まさにその実践方法に

ついて具体的に問う問題でした。現場で日頃から知識の習得を心がけ、さらなる学習効果を上げていただきたいと思います。

■ 営業店マネジメント II

「営業店マネジメント II」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数 1,860 名中受験者は 1,672 名で、合格者は 1,021 名でした。合格率は 61.06%、平均点は 61.28 点で、前回 (2019 年 6 月) と比べて、合格率は上回り、平均点は下回りました。

最高点は 86 点で、鈴木潤さん (商工組合中央金庫) が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択一式と記述式で構成されています。

四択一式で正解率が 30% 以下となった問題は 1 問ありました。また、記述式では、平均点が 5 点を下回ったのは、〈営業推進〉の分野で出題した〔問-45〕ローン商品の推進とコンプライアンスの 1 題でした。

四択一式で正解率が 30% 以下の問題が少なかったことと、記述式の平均点が 5 点台であったことが、合格率が高くなった要因であると考えられます。

「営業店マネジメント II」は、本年度より「営業店管理 II」からリニューアルし、今回の実施で 2 回目になります。本種目の出題範囲は多岐にわたり、学習のポイントを絞りにくい面がありますが、マネジメント全般で初級管理者に求められる

〔表-13〕 営業店マネジメント I ・業態別成績一覧表 (合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	60	713	0	157	193	13	8	34	0	0	0	202	1,380
応募比率	4.35	51.67	0.00	11.38	13.99	0.94	0.58	2.46	0.00	0.00	0.00	14.64	100.00
受験者数	56	589	0	138	171	9	7	25	0	0	0	149	1,144
受験率	93.33	82.61	0.00	87.90	88.60	69.23	87.50	73.53	0.00	0.00	0.00	73.76	82.90
合格者数	31	197	0	41	45	1	2	9	0	0	0	53	379
合格率	55.36	33.45	0.00	29.71	26.32	11.11	28.57	36.00	0.00	0.00	0.00	35.57	33.13
平均点	58.66	55.06	0.00	55.36	53.95	51.33	52.71	56.12	0.00	0.00	0.00	55.79	55.18
年齢	43.4	41.3	0.0	42.6	42.2	46.0	45.3	39.9	0.0	0.0	0.0	42.9	41.9
勤続年数	19.6	17.8	0.0	19.2	19.2	24.7	19.0	16.3	0.0	0.0	0.0	18.9	18.4

課題について、理論や手法などの基本を重点的に問う試験となっています。今後も幅広い学習を意識し、高得点を目指していただきたいと思えます。

■ 事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数1,917名中受験者は1,668名で、合格者は849名でした。合格率は50.90%、平均点は58.35点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、濱井耕太さん(商工組合中央金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-7〕単独株主権と少数株主権、〔問-12〕役員退職金等にかかる所得税の取扱い、の2問でした。

全体的に良好な結果となり、とくに記述式問題の「見える化・磨き上げ」がよく記述できていました。

本種目の出題範囲は、事業承継やM&Aにかかる法務・税務の基本知識に加えて、取引先の現状把握・分析、融資手法、各工程のアドバイス、公的支援の概要など、実務的な内容を多く含んでいます。学習した内容を日々の業務に役立てていただければ幸いです。

〔表-14〕 営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	13	644	1	231	402	81	53	228	0	0	1	206	1,860
応募比率	0.70	34.62	0.05	12.42	21.61	4.35	2.85	12.26	0.00	0.00	0.05	11.08	100.00
受験者数	12	588	1	210	374	68	45	205	0	0	1	168	1,672
受験率	92.31	91.30	100.00	90.91	93.03	83.95	84.91	89.91	0.00	0.00	100.00	81.55	89.89
合格者数	11	420	1	120	194	24	9	126	0	0	0	116	1,021
合格率	91.67	71.43	100.00	57.14	51.87	35.29	20.00	61.46	0.00	0.00	0.00	69.05	61.06
平均点	69.00	63.53	73.00	61.48	59.08	56.47	50.71	60.76	0.00	0.00	54.00	62.88	61.28
年齢	40.5	37.2	44.0	39.4	37.4	41.6	47.1	39.2	0.0	0.0	32.0	37.2	38.2
勤続年数	17.3	13.8	14.0	16.1	14.3	18.5	24.1	14.9	0.0	0.0	14.0	13.2	14.8

〔表-15〕 事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	415	590	10	92	413	72	16	0	2	0	9	298	1,917
応募比率	21.65	30.78	0.52	4.80	21.54	3.76	0.83	0.00	0.10	0.00	0.47	15.55	100.00
受験者数	399	505	8	77	365	61	13	0	2	0	8	230	1,668
受験率	96.14	85.59	80.00	83.70	88.38	84.72	81.25	0.00	100.00	0.00	88.89	77.18	87.01
合格者数	296	255	2	29	99	15	6	0	1	0	3	143	849
合格率	74.19	50.50	25.00	37.66	27.12	24.59	46.15	0.00	50.00	0.00	37.50	62.17	50.90
平均点	64.46	58.36	56.25	56.71	51.42	48.41	56.46	0.00	59.50	0.00	55.00	62.20	58.35
年齢	35.7	34.5	38.3	36.4	39.8	40.5	34.0	0.0	42.5	0.0	44.0	39.8	37.1
勤続年数	12.3	11.6	15.0	13.0	17.0	17.2	12.7	0.0	20.0	0.0	18.4	14.7	13.7

